



看護の質向上プロジェクト NEWS LETTER 第3号

発行日 2010年2月3日
発信元 看護局
「看護の質向上プロジェクト」

季節は2月！今年もあと残り2カ月となりました。来年度に向けての評価ややり残したことなど整理して、ラストスパートで頑張りましょう！まだまだ寒い日が続くので体調管理にも注意しましょう。

特集 摂食・嚥下リンクナース研修報告

今年度、看護局では、より高い専門性を持つ看護師を育成し、看護の質の向上を図るために、「摂食・嚥下障害看護 院内認定(リンクナース)」プログラムを立ち上げ、実施してきました。今回はその講義テーマとリンクナース候補生の声をご紹介します♪

講義テーマ	担当講師
摂食・嚥下障害の発達と基本	日本歯科大学付属病院 楊秀慶 ^{ようひでのり} 先生
摂食・嚥下機能に関連する様々な要因	小児科医師 石井光子先生
脳血管障害患者および高齢者の摂食・嚥下障害の特徴	言語聴覚士 坂居隆さん
摂食・嚥下障害のある子どもと家族への支援	副看護部長 荒木暁子さん
必要栄養量の計算 と 栄養剤の特徴・適応 経腸栄養の管理 と 排泄トラブルへの援助	管理栄養士 瀧澤素子さん 皮膚・排泄ケア認定看護師 室岡陽子さん
摂食・嚥下訓練方法を実践してみよう 当センターの食形態の紹介と試食	歯科衛生士 塩谷友季子さん 管理栄養士 瀧澤素子さん・吉田直子さん
安全な食事介助法～STの評価視点をまじえて～ 口腔ケアを実践してみよう 市販の嚥下食の紹介と試食	言語聴覚士 坂居隆さん 歯科衛生士 塩谷友季子さん 協力：ヘルシーフード株式会社
食べる前の呼吸器ケア	呼吸療法認定士 室岡陽子さん
重心児の姿勢や呼吸の援助	理学療法士 栗原弘幸さん
コンサルテーションの基本	小児看護専門看護師 市原真穂さん
ケースアセスメント、レポート・プレゼンテーション(プログラム開発)	摂食・嚥下障害看護認定看護師 片山ゆかり

院内の多くの専門職の方々から貴重なお話をいただきました。

試食は大人気♪

積み重ねが見える研修を！という要望によりこのプログラムを実施しました(荒木)



外来 中町聖子さん
「基本的なことがわかってなかったりして、学生になった気分で受講しました」



3AB 鈴木奈津子さん
「摂食・嚥下には日常生活の基本的なことが重要と再認識しました」



1BC 鈴木亜由美さん
「障害を持つ子どもの親の摂食にける思いや不安が感じ取れました」

今後の病棟での活躍を期待しています！摂食に関してはぜひこの5名にも声をかけて下さいね。



3C 子安浩子さん
「ペアの相手に歯磨きをしてもらい、とても恥ずかしく緊張しました。患者さんの気持ちがわかりました」



2B母子 藤井百香さん
「リンクナースとしての役割が果たせるか不安ですが頑張ります」

CNS,CNの活動報告

専門看護師（CNS）の役割（その2：コンサルテーション）



「コンサルテーション」は
相談者自身の力を引き出し、
外の力(人的・社会的資源)と
合わせて、
患者さまの入院目的の
達成を目指し、
現場の問題解決の過程を
支援する役割です♡

コンサルテーションで得られる3つの効果



対象者

ゴール達成
ニーズの充足
満足感

相談者

スキルアップ
自信の向上
やりがい

組織・システム

問題解決力
ケアの質向上
助けあう文化

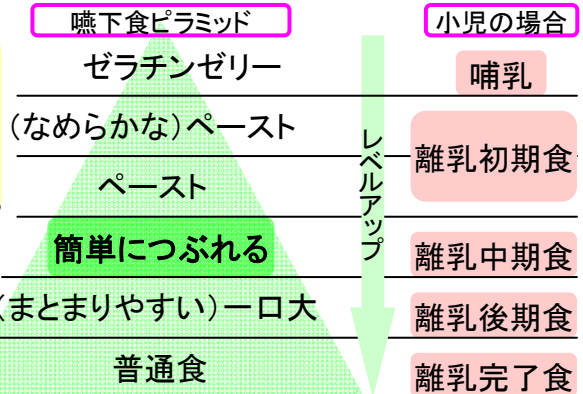
いつでもご相談ください!!

小児看護専門看護師 市原真穂 PHS787

摂食・嚥下障害看護CN 片山ゆかり(2B・母子棟)

Q ペースト食を上手に摂取しているので、次のステップはきざみ食でいいですか？

A いいえ。
次は、舌と上顎で簡単につぶせる形態です。
豆腐やムースなどの訓練食の
食事への付加を、栄養士さんと検討しましょう。



★舌の上下運動で食物をつぶす(咀嚼の前段階)

★唇・頬・舌を連動させ口腔内で食物をまとめる

この2点の訓練に適したメニュー選択が必要です。

皮膚・排泄ケアCN 室岡陽子 (3C)

Contenance(失禁)ケアとは？



2月の活動日
1日、8日、15日、22日

皮膚・排泄ケアという名称の通り、排泄物によるスキントラブルの
対処などのほか、排泄管理についてのケアを行います。排泄管理と
は、排泄物が漏れないようにするために内服薬の調整を行ったり、
排泄環境を整えたり、また骨盤底筋体操や導尿の指導なども行い
ます。その中で患者様に合った方法を検討し、排泄方法が確立され
るようケアしていきます。具体的な内容は個々によって異なりますの
で、何かお困りなことがありましたらいつでもご相談ください。また排
泄管理に興味のある方は、是非一緒に取り組みませんか？いつで
もお声をかけください。

